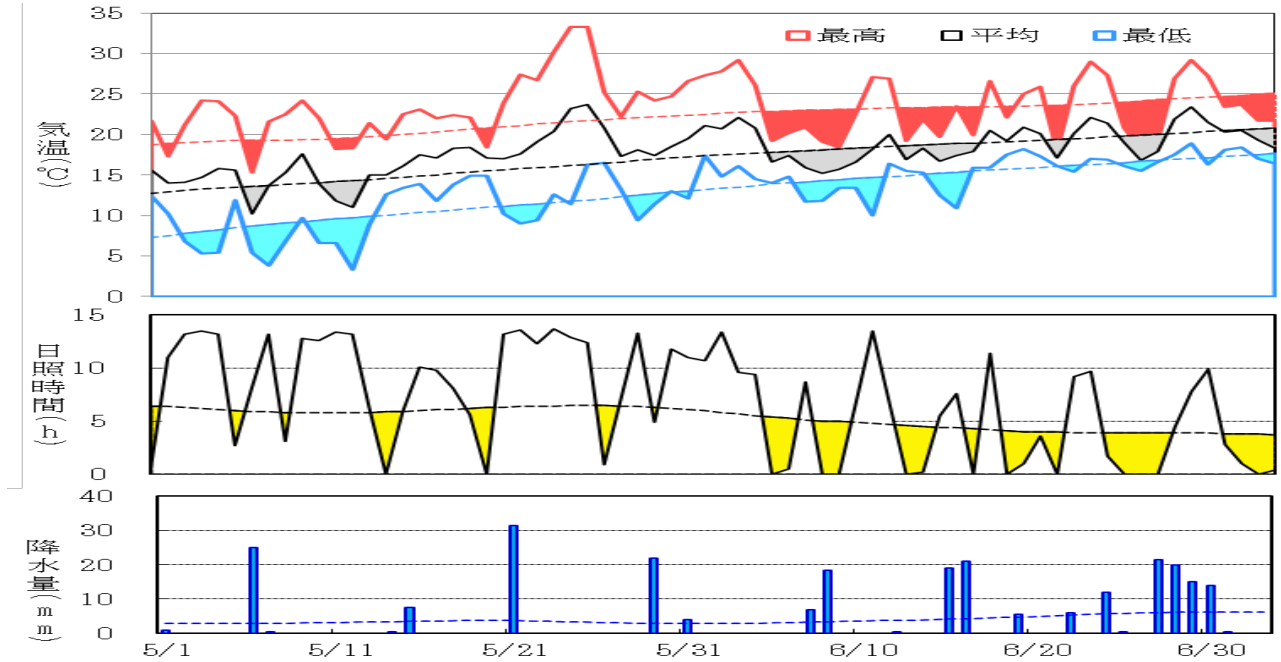


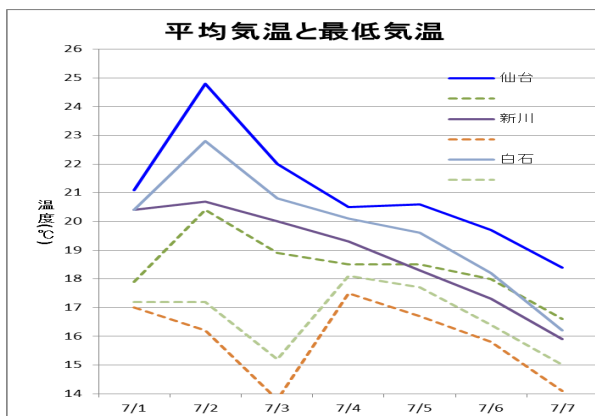
～6月平年並みの天候, 7月の低温に注意!!～

1 気象経過 (アメダス古川)

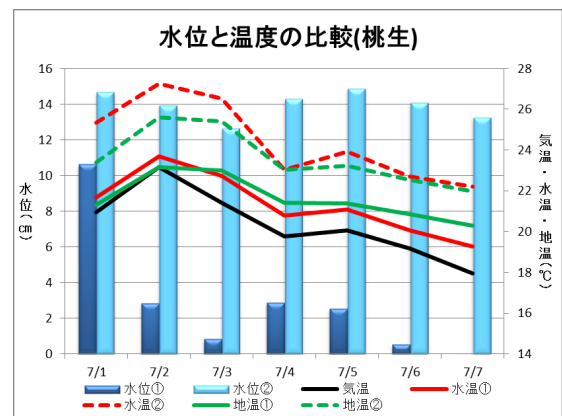


- ・6月下旬, 7月上旬に一時期高温だった, その後は低温となるなど高温低温を繰り返した。
- ・同様に日照時間も多照寡照が数日おきに出現した。
- ・降水量は, 6月下旬～7月にかけては多雨傾向で推移した。

【平均気温と最低気温】



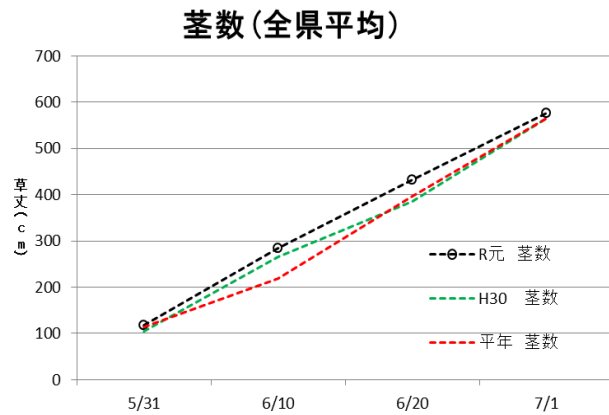
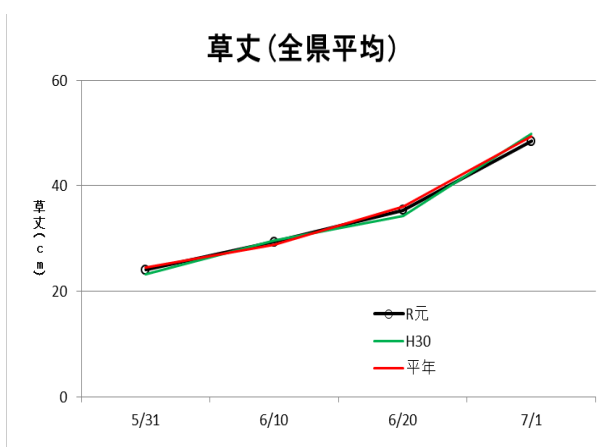
【水田センサーの観測値】



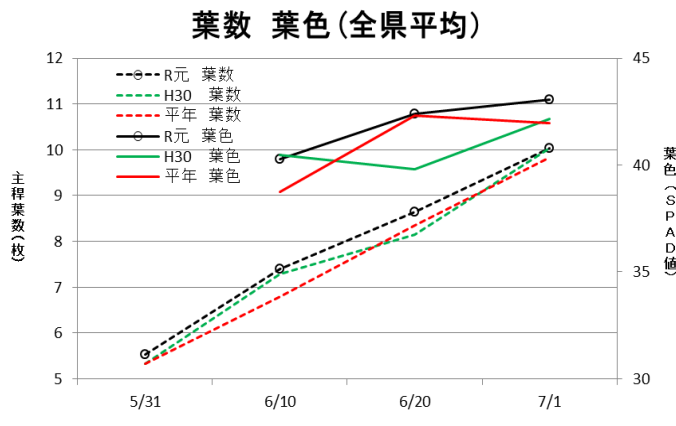
- ・平均気温が20℃を下回った地域があり, 7/5～8にかけて出現している。 ※水地温①は低水位, 同②は高水位
- ・最低気温も17℃を下回った地域があり, 特に7/3日が低温であった。
- ・水田センサー測定値では, 水位の低い圃場では気温に近く, 高い圃場では数℃気温より高い。

## 2 生育状況等

### (1) 生育状況(6月1日～7月10日)



(7月1日現在の生育状況)



県全体	草丈			茎数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m²)	前年比 (%)	平年比 (%)
	48.4	97	98	576	102	102

本年 (枚)	葉数		葉色		
	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)
10.0	0.0	0.2	43.1	0.9	1.1

- ・草丈の推移は、平年並～極低く概ね平年並みに経過している。
- ・茎数は平年、前年を上回って直線的に推移し、やや多い茎数となっている。
- ・主稈葉数も前年、平年を上回って推移しており、葉色は濃い～並となっている。

### (2) 本年の幼穂形成始期と減数分裂期の予想 (古試 7/4日現在)

地帯区分	幼穂形成始期	減数分裂期
北部平坦	7/2～7/11	7/12～7/21
南部平坦	7/2～7/10	7/12～7/20
仙台湾岸	7/2～7/14	7/12～7/24
西部丘陵	7/5～7/16	7/15～7/26
山間高冷	7/13～7/21	7/23～7/31
三陸沿岸	7/10～7/17	7/20～7/27



- ・7月4日現在の時期は上記のようにになっているが、低温傾向のためやや時期が遅れると思われる。
- ・圃場や品種のよって時期は異なるので、圃場ごとに幼穂の発育状況を確認する。  
(※一般的に、幼穂長 1mm で始期、3～12mm で減数分裂期といわれる。)

### 3 今後の管理

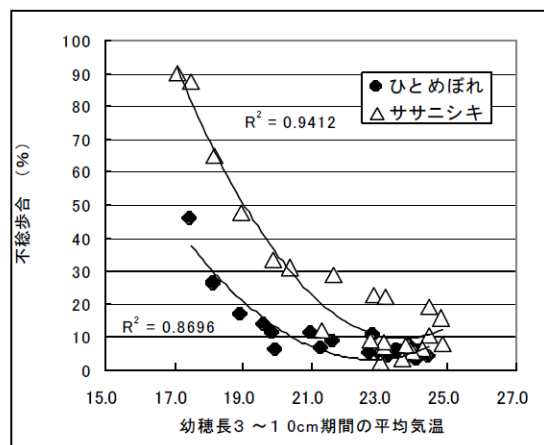
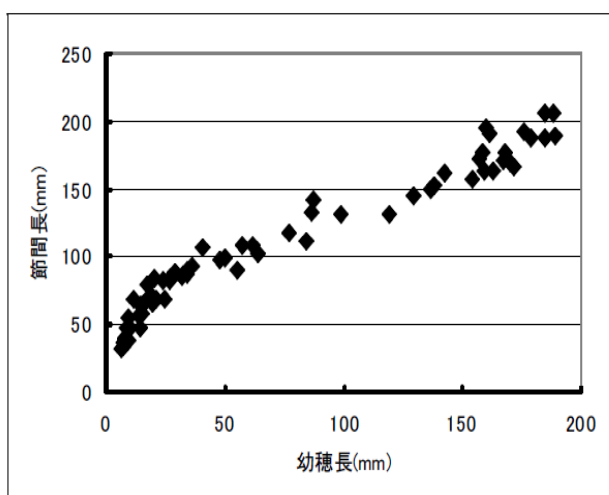
#### (1) 追肥

- ・上記の生育ステージの生育ステージの予測を目安に実際の時期を見極め、穂肥の要否は判定し適期に実施する。
- ・近年は、減数分裂期以降、急激に葉色低下が見られ品質低下の一要因になっており、葉色を判断し、急激に低下させないよう管理する。

品種名	幼穂形成期(葉緑素計値)	減数分裂期(〃)
ひとめぼれ	37~39	35~37
ササニシキ		32~34
まなむすめ	35~37	

#### (2) 水管理

- ・中干しは、遅くとも幼穂形成期前に終わらせる。
- ・低温がこれから数日続く予想となっており、幼穂形成期～減数分裂期にかけて、日平均気温が20℃以下、または、最低気温で17度以下が続く場合は、早急に深水管理を実施する。  
 ※幼穂形成期：幼穂長にあわせて段階的に水深を5~10cm程度とする。  
 ※減数分裂期：できる限り深水管理を実施する。(この時期は20cm程度に穂がある。)



幼穂長3~10cmの期間の平均気温と不稔歩合の関係

#### 危険期における幼穂長と節間長の関係

#### (3) 病害虫発生予察情報(7/5 病害虫防除所)と対策

病害虫名	発生時期 (全般発生期)	発生量
葉いもち	やや早い (7月第3半旬:7/11~7/15)	平年並

病害虫名	発生時期 (第1世代成虫発生盛期)	発生量
斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ)	やや遅い (7月第5半旬:7/21~7/25)	平年並

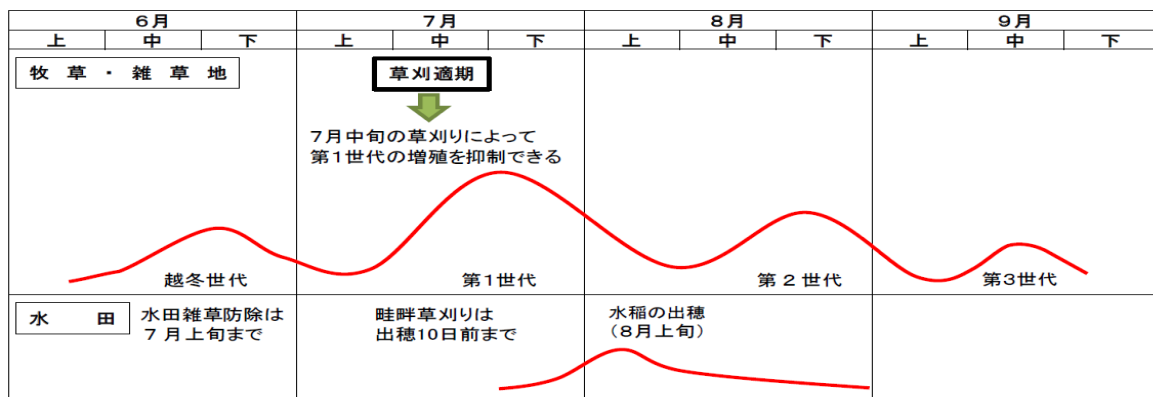
病害虫名	発生時期 (侵入盛期)	発生量
コバネイナゴ	平年並 (7月第3半旬:7/11~7/15)	多

#### 【葉いもち】

- ・箱施用剤や予防粒剤の効果が低下し始め、葉いもちの感染好適条件が出現している。
- ・上位葉で発病した葉いもちは穂いもちの伝染源になるので、充分発生に注意する。
- ・追肥後はいもち病の発生が助長されるので防除を徹底する。

#### 【カメムシ】

- ・草刈や防除の目安は下記の通りとする。



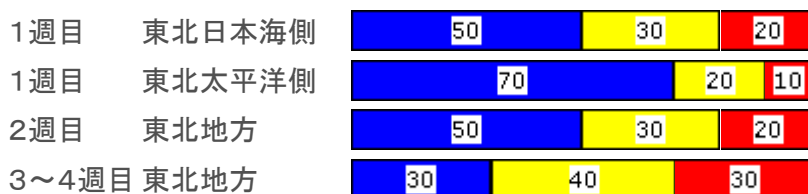
#### 【コバネイナゴ】

- ・齢が進んでから薬剤散布を行うと防除効果が低下するので、本田侵入盛期(7月11日~15日)を目安に防除する。

#### (4) 1ヶ月予報

- ・東北太平洋側では、平年に比べ曇りや雨の日が多い。
- ・向こう1か月の平均気温は、東北太平洋側で低い確率60%で、日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%である。
- ・週別の気温は、1週目は東北太平洋側で低い確率70%で、2週目は低い確率50%である。

#### <気温経過の各階級の確率(>



凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

1週目 : 7月 6日(土) ~ 7月12日(金)  
 2週目 : 7月13日(土) ~ 7月19日(金)  
 3~4週目 : 7月20日(土) ~ 8月 2日(金)